

## (1) 工学部の沿革(明治30年4月～平成28年3月まで)

|    |        |  |
|----|--------|--|
| 明治 | 30. 4  | 第五高等学校に工学部創設。(土木学科, 機械学科)  |
|    | 39. 3  | 熊本高等学校(3年制)新設。(採鉱冶金学科増設)   |
|    | 44. 6  | 附属工業夜学校(2年制)開設   |
| 大正 | 6. 12  | 電気工学科を増設   |
| 昭和 | 6. 1   | 附属工学校へ改称   |
|    | 14. 4  | 工業化学科を増設   |
|    | 15. 4  | 採鉱冶金学科が採鉱学科と冶金学科へ  |
|    | 17. 4  | 建築工学科を増設   |
|    | 18. 4  | 附設臨時工業教員養成所を附設工業教員養成所へ改称   |
|    | 19. 4  | 熊本工業専門学校へ改称. 電気通信科, 第二部機械科を増設  |
|    | 20. 4  | 第二部冶金科を設置  |
|    | 21. 4  | 第二部機械科、第二部冶金科を廃止   |
|    | 24. 5  | 熊本工業専門学校が熊本大学工学部へ  |
|    | 26. 3  | 熊本工業専門学校を廃止  |
|    | 29. 4  | 工学専攻科(修業年限1年)を設置   |
|    | 30. 7  | 土木建築工学科が土木工学科と建築学科へ  |
|    | 34. 4  | 採鉱冶金学科が鉱山工学科と金属工学科へ  |
|    | 36. 4  | 生産機械工学科を設置   |
|    | 38. 3  | 工学部創立65周年記念事業会からの寄付により、工業技術研究所(仮称)を設置  |
|    | 38. 4  | 電子工学科を設置   |
|    | 40. 4  | 合成化学科を設置、鉱山工学科を資源開発工学科へ改称  |
|    | 41. 4  | 工業技術研究所を工学研究機器センターへ改称  |
|    | 42. 4  | 共通講座「工業数学第一」を設置  |
|    | 46. 4  | 附属衝撃エネルギー実験所を設置  |
|    | 47. 4  | 共通講座「工業数学第二」を設置  |
|    | 49. 4  | 環境建設工学科を設置   |
|    | 52. 11 | 工学部創立80周年記念事業会からの寄付により機械実習工場を改装し、研究資料館を開設  |
|    | 54. 4  | 情報工学科を設置   |
|    | 61. 4  | 電気工学科・電子工学科・情報工学科を電気情報工学科へ、工業化学科・合成化学科を応用化学科へ改組  |
|    | 62. 2  | 資源開発工学科・金属工学科を材料開発工学科へ、生産機械工学科・機械工学科を機械工学科へ改組  |
|    | 63. 4  | 土木工学科・環境建設工学科(土木コース)を土木環境工学科へ、建築学科・環境建設工学科(建築コース)を建築学科へ、共通講座の4講座を工業数学・応用力学の2講座へ改組                          |
| 平成 | 4. 4   | 電気情報工学科に寄附講座(電気エネルギー先端技術講座)を設置   |
|    | 8. 4   | 土木環境工学科、建築学科、材料開発工学科、電気情報工学科、応用化学科および共通講座を整理統合し、環境システム工学科、知能生産システム工学科、電気システム工学科、数理情報システム工学科、物質生命化学科の5学科へ改組 |
|    | 9. 11  | 工学部創立100周年記念式典を挙行  |
|    | 16. 2  | 工学部創立百周年記念事業後援会から寄附を受け、工学部創立百周年記念館を竣工  |
|    | 17. 4  | 文部科学省の特別教育研究費の採択を受け(平成17年度～21年度)、ものづくり創造融合工学教育センターを設置  |

- 18.4 環境システム工学科、知能生産システム工学科、電気システム工学科、数理情報システム工学科、及び物質生命化学科の5学科から、新しく物質生命化学科、マテリアル工学科、機械システム工学科、社会環境工学科、建築学科、情報電気電子工学科、数理工学科の7学科へ改組  
寄附講座(太陽電池・環境自然エネルギー寄附講座)設置(平成25年3月31日まで)
- 23.6 ものづくり創造融合工学教育センターを革新ものづくり教育センターへ改組
- 27.7 革新ものづくり教育センターをグローバルものづくり教育センターへ改組